

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は3月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

2021年度 看護プロフェッショナル プログラム

受講方法 対面、オンライン配信
(予定)

講師 宇佐美しおり(四天王寺大学)

●最新セルフケアプログラム
——患者・家族・同僚のメンタルヘルスと看護介入技法

日程 5月1日、7月3日、8月7日、11月13日、12月25日、2022年1月29日、2月19日、3月26日(全8回、いずれも土曜日)、10〜12時

内容 COVID-19禍の患者・家族・スタッフの回復を早期に促す最新セルフケアプログラムの概要、医療現場や地域ケアにおいて、どうセルフケアプログラムを用いるのか、セルフケアプログラムをより効果的に展開するための組織・集団・地域調整と介入について学習する。

対象 看護師経験3年以上、専門看護師(CNS)、高度実践看護師(APN)、Nurse Practitioner、看護管理者、看護系大学院生も可。患者・家族からの相談、

同僚・部下の育成、スタッフの関わり方と人材育成に関心のある方。

●ハイリスク慢性疾患患者への最新セルフケアプログラムからPASセルフケアセラピー——ケア

困難患者への看護介入技法
日程 5月1日、7月3日、8月7日、11月13日、12月25日、2022年1月29日、2月19日、3月26日(全8回、いずれも土曜日)、13〜15時

内容 心不全や悪性腫瘍・脳血管疾患や糖尿病などの5大疾患の重症化、行動化や自傷行為、自殺企図、身体疾患でうつ・不安を有する患者、認知症やせん妄を有する患者の再入院や再燃(ハイリスク慢性疾患患者と呼ぶ)は看護職のケアを困難にさせている。ここではケア困難患者への最新セルフケアプログラムとPASセルフケアセラピー(PAS-SCT)について事例をもとに学習する。

対象 看護師経験3年以上、CNS、APN、Nurse Practitioner、看護管理者、看護系大学院生も可。自分の受け持ち患者と家族、部下・同僚・スタッフへのかかわり方、患者の地域生活促進や慢性化防止に関心を持っている方。

【以下共通】
問い合わせ・申込先 PAS心理教育研究所

☎ FAX 03-64407-8201

✉ PAS@PAS-ins.com
<https://bit.ly/3aID8qj>

第95回日本感染症学会 学術講演会／ 第69回日本化学療法学会 総会 合同学会(現地開催+WEB配信)

日程 5月7日(金)〜9日(日)
会場 パシフィコ横浜会議センター(神奈川県横浜市)

テーマ 知識と智慧の集結——大きな輪(和)で挑む感染症の課題
プログラム 会長講演 藤田次郎(琉球大学)、松本哲哉(国際医療福祉大学)／招請講演①「新型コロナウイルス感染症危機対応(仮)」武見敏三(参議院議員)、②「古くて新しいイベルメクチン物語」大村智(北里大学)／特別講演①「COVID-19との対峙——私たちの経験と英知を結集して」館田一博(東邦大学)、②「感染症・化学療法において私が歩んできた道とこれから」松本哲哉、③「抗

菌薬の安定供給の課題」清田浩(井口腎泌尿器科・内科)／シンポジウム①「世界3大感染症(エイズ、結核、マラリア)の潜在性感染症」湯永博之(国立国際医療研究センター)ほか、②「新型コロナウイルス感染症の診断法の新知見」青木弘太郎(東邦大学)ほか、③「特

殊病態下での抗菌薬の適正使用」山下千鶴(藤田医科大学)ほか、④「抗菌薬の安定供給の現状、課題、対応について」松本哲哉(日本化学療法学会)、⑤「新しい抗微生物薬の開発状況と実現性」大曲貴夫(国立国際医療研究センター)ほか、⑥「気づかぬところに拡散する耐性菌、One Healthアプローチから再考する」武内真佐美(国際連合)、⑦「耐性菌感染症による国内の医療経済への影響——科学的データに基づく検証」——科学(明治薬科大学)ほか、⑧「新型コロナウイルス感染症の治療と予防のトピック」山岡邦宏(北里大学)ほか、⑨「ASTにおける各職種役割——AST加算開始でみてきたこと」丹羽隆(岐阜大学医学部附属病院)ほか、⑩「外来診療における抗菌薬の適正使用の推進」廣瀬皓己(ライファ)ほか、⑪「臓器横断診療による感染症専門医育成と専門診療の質保証」谷口俊文(千葉大学医学部附属病院)ほか、⑫「変貌する我が国の性感染症の現況」大西真(国立感染症研究所)ほか、⑬「未知の感染症への公衆衛生対応はどのようにに戦略的に行われるべきか」杉下由行(東京都福祉保健局)ほか、⑭「スポーツイベントに関するシンポジウム」三嶋廣繁(愛知医科大学)ほか、⑮「日本にお

る「マスクギャザリングと感染症」
和田耕治(国際医療福祉大学) ほか、
⑯「Withコロナ時代の災害時感染対策 加来浩器(防衛医科大学校) ほか、
⑰「院内感染対策が必要なインバウンド感染症」
小松崎直美(順天堂大学) ほか、
⑱「抗菌薬TDMガイドラインの改訂内容と今後の課題」松元一明(慶應義塾大学) ほか、
⑲「臨床家のための基礎研究(J-to Data) 金城雄樹(東京慈恵会医科大学) ほか、
⑳「新たな検査法の導入は感染症診療をどう変えるか？」豊川真弘(福島県立医科大学)／招聘講演／教育講演／Meet the Expert／若手向け講習会／ほか
問い合わせ先 運営事務局
〒112-0012
東京都文京区大塚3-5-10
住友成泉小石川ビル6階 サンプラネットメディカルコンベンション事業部内
☎03-5940-2614
FAX 03-3942-9369
✉jaids-jsc69@sunpla-mv.com
http://jaids-jsc69.unin.jp/index.html

第22回 日本認知症ケア学会 (WEB開催)

日程 6月5日(土)～9月5日(日)

テーマ いつもの生活と認知症を
認知症を考える

プログラム 大会長講演「いつもの生活と認知症を考える」
特別講演「MC―診断・治療―認知症の人の日常を知る」
「BPSD：予防のための新しい動き」
認知症と暮らしの障害「新時代を迎えたケアマネジメント」
シニアボジウム「生活支援」
認知症ケアの人材育成「変化する地域連携」
教育講演「高齢者の感染症予防」
「COVID-19含む」
「口腔ケア」
「認知症の予防と訓練」
「地域共生社会 地域コミュニティづくり」
「若年性認知症の人への支援」
「介護(家族)のストレス」
「認知症カフェの実態と効果と課題」
認知症の人のターミナルケア／特別企画「若手実践者・研究者が考える認知症ケアの未来」
参加費「事前参加」会員8000円、非会員1万円、「配信中」会員・非会員1万円
申込期間「事前参加」4月30日(金)まで、「配信中」6月5日(土)～9月5日(日)

開 大会事務局

〒162-0825

東京都新宿区神楽坂4-1-1
オザワビル2F ワールドプランニング内

☎03-5206-7431

FAX 03-5206-7757

✉d-care@nfm.tbk.net

https://ninchisyuicare.com/
takai/nagoya22/index.html

日本老年看護学会 第26回学術集会 (WEB開催)

日程 6月12日(土)～13日(日)

テーマ 高齢者は本当に幸せになったのか―成熟社会における老年看護の課題

プログラム 学術集会長講演「高齢者は本当に幸せになったのか―成熟社会における老年看護の課題」北川公子(共立女子大学)／特別講演①「悩み、迷って決断する、高齢者のQuality of Death」(仮)玉置妙憂(大滋学苑)、②当事者家族が行うケアラー支援(仮)尾の内直美 認知症の人と家族の会／教育講演①「授業、研修、チーム作りに役立つアセスメント」(仮)内藤知佐子(京都大学)、②「特別養護老人ホームにおけるミューチュアル・アクシヨニリサーチ(仮)小山千代代

(新潟大学)／シンポジウム「COVID-19流行下における高齢者ケアWithコロナ時代の新たな気づき」山元智穂(虎の門病院)、泉玄太(エル・クオール平和)、原田かおる(高槻赤十字訪問看護ステーション)／セミナー①「高齢者の下肢・足部の浮腫のアセスメントと生活への影響(仮)佐藤文(川崎市立看護短期大学)、②「透析を受ける認知症高齢者のケア(仮)スミ真代(金城大学)、③「高齢者のスキニアの予防(仮)紺家千津子(石川県立看護大学)、④「高齢者の難聴の把握方法とコミュニケーション(仮)山田紀代美(名古屋市立大学)／リレー式セミナー①「排尿誘導におけるPromoted Voidingのエビデンスと手順」佐藤和佳子(山形大学)、②「せん妄に関するテーマ(調整中)」第32回日本老年学会総会「合同シンポジウム」プログラム①「超高齢社会の街づくり―高齢者／認知症の人に優しいまちづくり」、②「認知症と栄養―認知症の発症や予後に影響を及ぼす栄養・食事について考え」、③「介護保険制度発足から20年―高齢者は幸せになったか」、④「A」と超高齢社会―Aは超高齢者社会を救う」、⑤「一人暮らし高齢者の生活を支える」、⑥「災害時の高齢者対応―その時が来る前に」、⑦「孤立(独)死、8050問題、高齢者虐待―多様化・複雑化する老いと家族に向き合う」、⑧「多死社会におけるエンドオブライフ・ケアを考える―ACPは高齢者を幸せにするか」、⑨「健康寿命延伸に向けたフレイル・サルコペニア対策―研究成果から政策へのメッセージ」、⑩「老化の統合的理解を目指したマルチモダリティアプローチ」、⑪「口腔衛生管理と誤嚥性肺炎―医・歯・看・介護連携について考える」、⑫「何とかして、ポリファーマシー―適正化の処方箋はあるか」、⑬「貧困と孤立を「治療」する―社会的処方活動の現状と課題」、⑭「栄養介入による健康長寿延伸の分子機序の解明」、⑮「社会的フレイル」の概念および研究と社会実装」、⑯「高齢者と運動―ハンドルの重みと自立のはざま」、⑰「コロナ騒動の爪痕―高齢者に遺したもの」

開 事務局
〒162-0825
東京都新宿区神楽坂4-1-1
オザワビル2階 ワールドプランニング内
☎03-5206-7431
FAX 03-5206-7757
✉office@rounenkango.com
http://www.rounenkango.com/